

令和6年度第4回川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会 会 議 録

1 開催日時

令和7年2月6日（木）14時00分～17時00分

2 開催場所

川崎市役所本庁舎3階306会議室

3 出席者

(1) 委員（5名）

遠山部会長（専修大学経済学部教授）、増山委員（川崎商工会議所・副会頭）田村委員（神奈川県情報サービス産業協会・川崎市交流委員会 副委員長）、出口委員（川崎市商店街連合会・青年部相談役）、青山委員（川崎市青年工業経営研究会 会長）

(2) 朝比奈経済活性アドバイザー

(3) 事務局

経済労働局産業政策部長、企画課長、企画課長補佐、企画課職員

経営支援部経営支援課長、事業承継担当課長、国際経済担当課長、金融課長

イノベーション推進部グリーンイノベーション担当係長

労働雇用部働き方改革・生産性向上担当係長

都市農業振興センター農業振興課長、農地課長、農業技術支援センター所長

財政局資産管理部契約課長、担当課長

4 議題（公開）

(1) 川崎市中小企業活性化条例に基づく令和6年度の施策検証について

(2) かわさき産業振興プランの改定について

5 傍聴者

無し

6 会議の内容

産業政策部長

(令和6年度第4回川崎市産業振興協議会・中小企業活性化専門部会開会を宣言)
(会議公開や傍聴人の有無、会議成立を確認)
(議事進行を遠山部会長に依頼)

遠山部会長

それでは、議題(1)の川崎市中小企業活性化条例に基づく施策検証の進め方について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局

(資料に基づき説明)

遠山部会長

事務局説明のとおり進める形で、早速検証作業を始めたい。

(資料に基づき検証作業を実施、検証内容については別紙にて報告)

(検証終了後)

遠山部会長

つづいて次第の議事(2)かわさき産業振興プランの改定について審議となる。事務局から説明をお願いしたい。

事務局

(資料に基づき説明)

遠山部会長

戦略を実現するための政策が6つ挙げられているが、足りない視点等はないか。
増山委員いかがですか。

増山委員

良いと思う。

遠山部会長

出口委員はいかがですか。

出口委員

稼ぐ力の向上、と書いてあるのでうれしい。商店街としても稼げないと寂れてしまう。そう
なると町の治安も悪くなり、安心安全で暮らせなくなる、ということがあるので稼げるとい
う点は大事である。安心して暮らせるまちかわさき、というイメージがないと難しい。世間
のイメージを払拭するような明るい都市のイメージが足りないような気がする。

遠山部会長

田村委員いかがですか。

田村委員

今日話したようなことがだいたい入っていると思う。

遠山部会長

青山委員いかがですか。

青山委員

ゆっくり読みたいと思う。

企画課長

ご覧いただいて、何か足りないところなどがあればいつでもご発言いただけるとありがたい。

青山委員

組合や団体に入っていれば色々な情報が入ってくるが、入っていない人には何も情報がこない。各事業者のヒアリングを見ると、業種を問わない課題感なのだなと思った。

遠山部会長

朝比奈さんいかがですか。

朝比奈経済活性アドバイザー

これだけ漏れなく書いてあるのは素晴らしいと思う。敢えて言うと、作文して満足してしまうことがある。しっかりしたものを作って、逆に誰にも読まれないことにつながる。非難はされない、守りに強い文章だと思う。特に前回と比較して強調したい点、PRしたい点など、主張を持たせると良い。

企画課長

市の施策は全体として総合計画に則っている。膨大なページの計画を毎回作っているが、市民の方、事業者の方に何を訴えるのか、分かりやすさを追求する必要がある、というのが市全体の課題だ。どこをPRしていくか、来年度以降我々の方で案を作るのでまたご意見をいただければと思う。逆にシンプルにすると、今度は指標が少なくなってしまうので、悩みどころではある。成功事例をどんどん発信していった方が良い、といったようなご意見を頂いたので、そういったことを組み合わせて、どういったところに取り組んで、また逆に、皆様はどういったところに取り組んでほしいのかが分かるツールのようなプランになると良い。

増山委員

強いて挙げると、今後南海トラフ地震や、世界も物騒で爆弾が来る可能性もある。防災都市かわさき、のようなものを入れてもいいと思う。防災のシェルターを設置するとか。万博にシェルターを出展している知り合いがいるが、結構安く作ることができる。発泡スチロールにアメリカから輸入した液体をかけるとすごく強固になる。そういったものを商店街の一角

にシェルターを作って、いざという時の避難場所を考えておけると良い。

出口委員

環境技術展で防災のブースがでていたので、そのあたりをフィーチャーしても良いかもしれない。

増山委員

世界で一番無防備なのは日本だと思っているので、川崎が防災を強化します、といった宣言をすることも悪くないと思った。

企画課長

産業振興プランの方でそういった要素を取り入れるのは難しいかもしれないが、市全体の総合計画では考えていかなければいけない。担当の危機管理本部と情報共有して連携しながらやっていきたいと思う。

遠山部会長

青山委員、シェルターを作る会社は川崎市にあるのか。

青山委員

塗るだけでシェルターになるのはすごい。ベトナムは地震がない国なのでそういう危機管理はないが、塗ったら補強ができる塗料などはあると良いかもしれない。

青山委員

企業という表現が使われているが、赤字の会社、黒字の会社の二択に分けられる。黒字の企業が欲しい策と赤字の企業が欲しい策は違う。それは補助なのか助成なのか棲み分けがうまくできると同じ取組の中でも、二つのパターンがあると思う。市としては現状黒字企業に対しての政策が多い。例えば赤字の会社が川崎にいったらV字回復できるとなったら、たくさん来ると思う。かわさきはブランド力が弱い。横浜、東京は知名度があるが、地方に行くと川崎は知られていない。

企画課長

川崎に来れば、何らかの期待ができるような施策としては色々あるが、それが何のためにやっているかわからないといけないので、先ほどもご意見をいただいたように、ポイントでこれが川崎の売りだ、というようなものを強調していきたい。赤字、黒字、という表現はなかなか使いづらいが、赤字の部分に関しては、下支えしていく、黒字の企業さんに対しての取組は伸ばし上げ、磨き上げをしていくといった表現を使っている。そこを穴がないようにやっていくのが行政の役割と思っている。分かりやすい、伝わりやすい形にして考えていこうと思う。

遠山部会長

青山委員、工業会でリスクリングなどの取組はどうか。

青山委員

必要不可欠だと思うが、どうやって取り入れていくかが課題である。
社会経済環境の変化は、川崎ならではのものはあるか？

遠山部会長

AI、ビッグデータなど、見たところ、日本全体の課題だと思う。増山委員が言うように、量子コンピュータを使ってやっていくべきと思う。

社会環境の変化に対して、市としてどこから取り組んでいくのか。

企画課長

市の事業者さんからの声が強いものについて順に取り組んでいかなければいけないと思う。

朝比奈経済活性アドバイザー

今後どう変わるか分かりにくいところもあるが、敢えて言うと、社会環境の変化について、1つは(5)の価値観や生活様式の多様化・変化、というところだが、とにかく大企業へ寄れば大樹の陰というところから、働き方としてベンチャーに行く、NPOを立ち上げるといった価値観の変化がある。遠山先生はよくご存じと思うが、学生さんは就職するときに昔は企業の売り上げを気にしていたが、今はこの企業はどれだけCO2を排出しているのか、を気にしているといった価値観の変化がある。2つ目は(1)の不安定かつ競争が激化する世界経済のところだが、日本自体も金利のある社会になっている。デフレが続いていたが、今回の川崎市の産業振興プランの切れ目という意味では、インフレまでいくかわからないが、完全なるデフレ経済の切れ目というところはあるかもしれない。他には、以前の産業振興プランと今の違いで言うと、世界の見方として、新興国とずっと言われてきたが、最近ではグローバルサウスといわれる。大きな違いがあるわけではないが、どちらかというとな半球という概念になってくる。

青山委員

中小企業活性化専門部会には、団体のメンバーが出てきているがメンバーは年々減ってきている。施策に関してもこういった施策が出たと行政から丁寧に説明があるとか、会に入っているメリットがないと、団体も減っていつてしまうのではないかと思う。会の魅力を発信できるようにならないといけない。

朝比奈経済活性アドバイザー

確かに価値観の変化という点に入れても良いかもしれない。

遠山部会長

会を作ればうまくいく、というのは昔の発想だ。

青山委員

意見交換会のようなものはあるが、それだけでは価値の向上につながらない。

遠山部会長

中原工場協会は、市の施策をしっかりと伝えるための機関として作られたが、今はそれだけでは人は集まらない。

朝比奈経済活性アドバイザー

団体に入らなくなってきた、という話では、政党も危機を感じている。組織中心だったものが、SNSなどに影響される時代になった。記載するかは別にして、そういうことにも少し触れた方がいいかもしれない。

企画課長

組織のつながりが弱くなっているという問題はここに落とし込めていなかった。SNSの有効活用も抜けてしまっていたので、そこは加える必要がある。

朝比奈経済活性アドバイザー

北九州で聞いているのは、消防団や自治会、PTAなどが団体に人が入らず全然回らなくなってきた。結構前からあった話だが、加速度的に進んでいる。そういった社会の変化はある。産業振興とどうつながるかはわからないが、影響はある気がする。

青山委員

異業種団体の加入はまだあるが、専門業種団体は、10年後は無くなっているのではないか。

朝比奈経済活性アドバイザー

土地家屋調査士の団体もまさにそのような状況と聞いた。今は政治的には強いが、30年後どうなっているかわからない。

遠山部会長

それでは、適宜ご意見をもらうということでよいか。(一同異議なし)

遠山部会長

以上で終わりにしたいと思う。ご協力ありがとうございました。

産業政策部長

本日の会議は以上とする。長時間の御審議に感謝申し上げます。

以上